

平成 3 0 年度 内閣府知財創造教育実証協力校

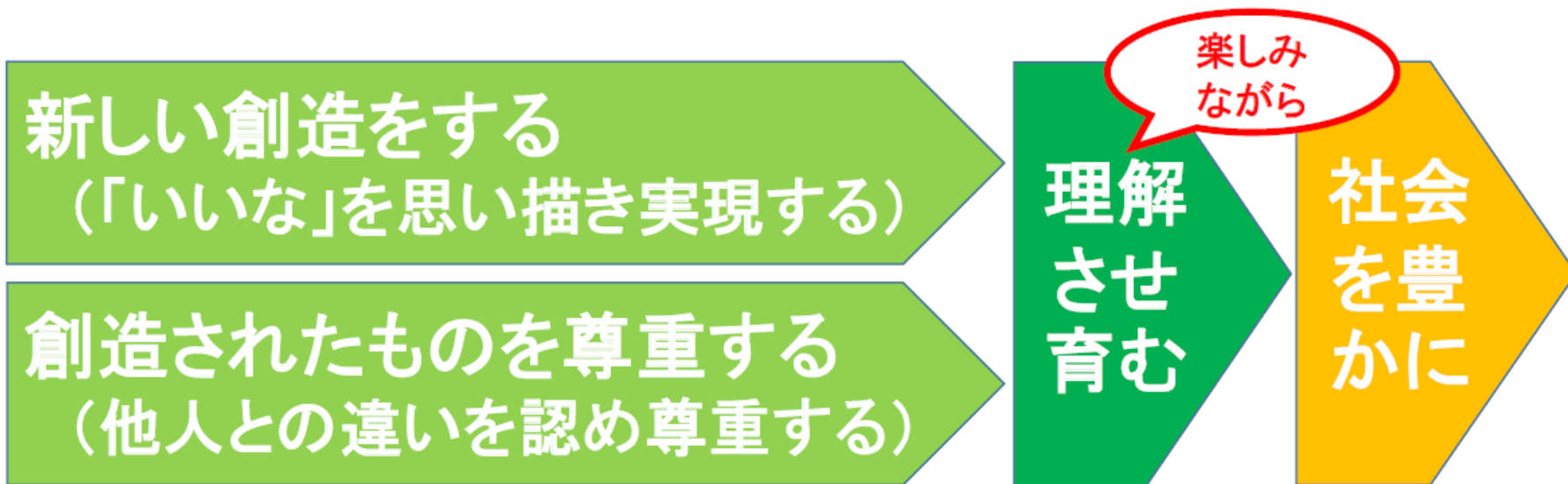
# 「深い学び」の実現に向けた指導法の工夫 —豊かな創造性の育成を目指して—

平成 3 1 年 1 月 2 2 日 (火)

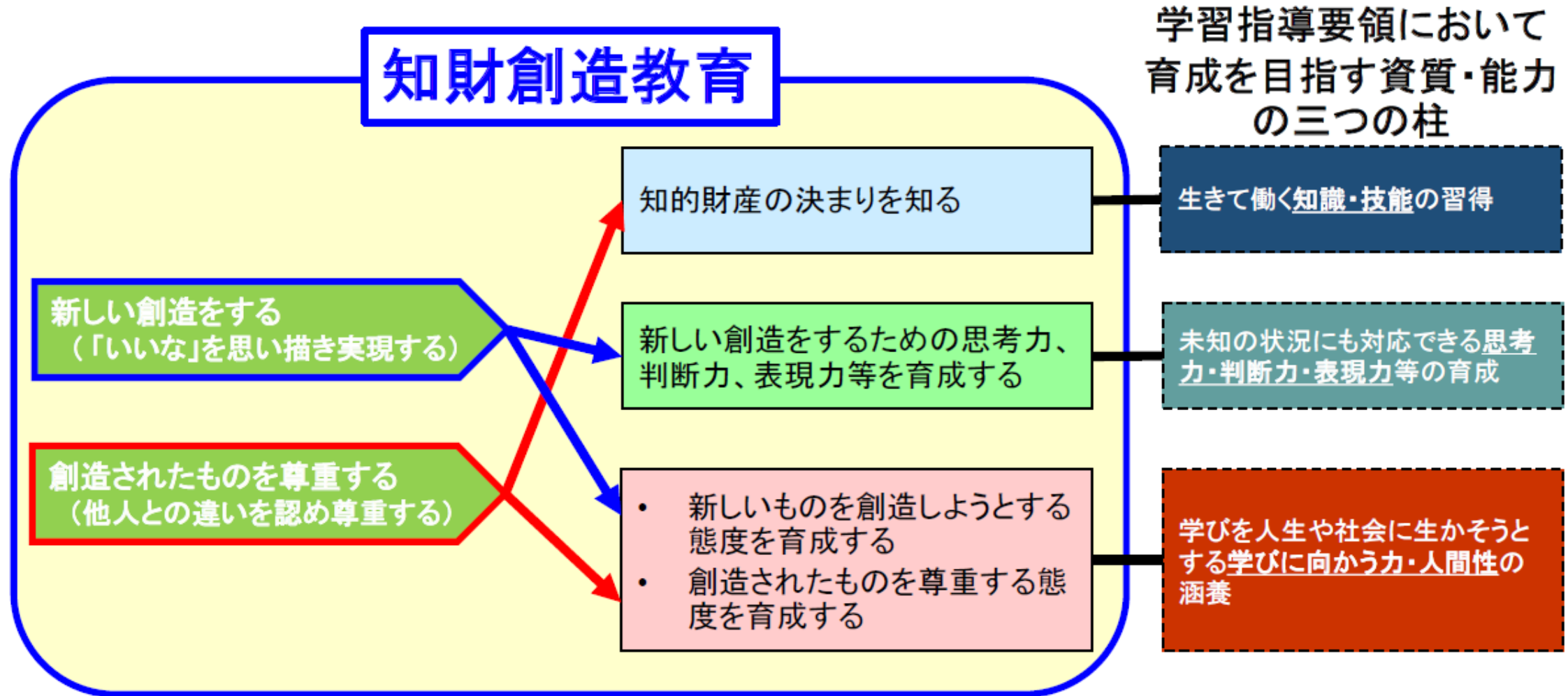
台東区立上野小学校



校長 神田 しげみ



- 国が知財創造教育の必要性等を示すとともに、各地域で知財創造教育を実施するための枠組み作りを支援
- 各地域では、その枠組みも活用して地域社会と連携しつつ現場の先生が工夫して知財創造教育を実施



昨年度の研究を継続、発展させる

今日的な教育課題  
(新学習指導要領に向けて)

内閣府知財創造教育  
実証協力校として

児童の実態

教師の思いや願い



「深い学び」の実現に向けた指導法の工夫  
—豊かな創造性の育成を目指して—

「深い学び」の実現に向けた指導法の工夫  
—豊かな創造性の育成を目指して—

## 本校における「深い学び」の姿

☆各教科等の特性に応じた「見方・考え方」を働かせながら…

課題意識をもち  
自ら考えすすんで学ぶ。

思考を表現し、  
考えを深め広げる。

学びによる自己の変容を  
自覚する。

## 学習指導要領における「創造性」

「創造性とは、感性を豊かに働かせながら、思いや考えを基に構想し、新しい意味や価値を創造していく資質・能力」

# 実証授業の三つの特徴

内閣府  
知財創造教育

カリキュラム・  
マネジメント

深い学び



内閣府  
知財創造教育

新しい創造をするための思考力、  
判断力、表現力等を育成する

創造されたものを尊重する態度  
を育成する



カリキュラム・  
マネジメント

教科横断的な取組

外部人材の活用





深い学び

課題設定の工夫

思考ツールの活用

振り返りの充実

# 今年度の研究

学びの深まり



思考の活性化を図る  
課題設定の工夫

- 「やってみたい」興味・関心
- 教科としての学びの価値
- +α 創造性が発揮される



思考を可視化し  
学びを深めるための  
ツールの活用

- 思考の可視化
- 思考の分類・整理・関連付け
- +α ツールの新しい活用法  
開発  
校内での共有



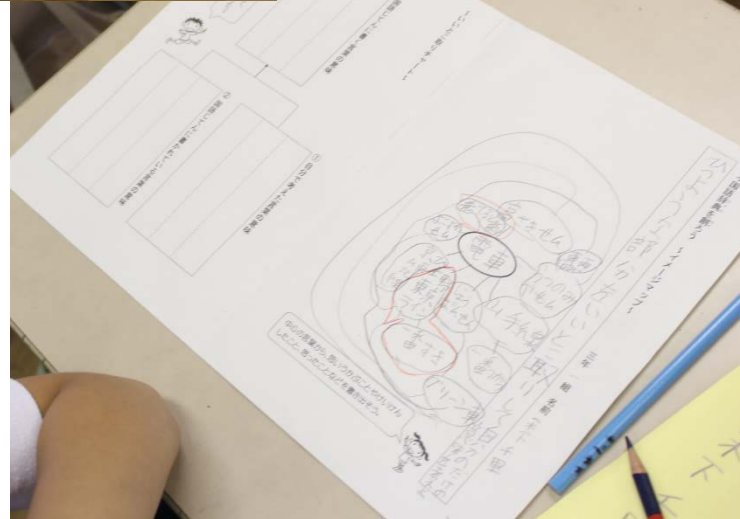
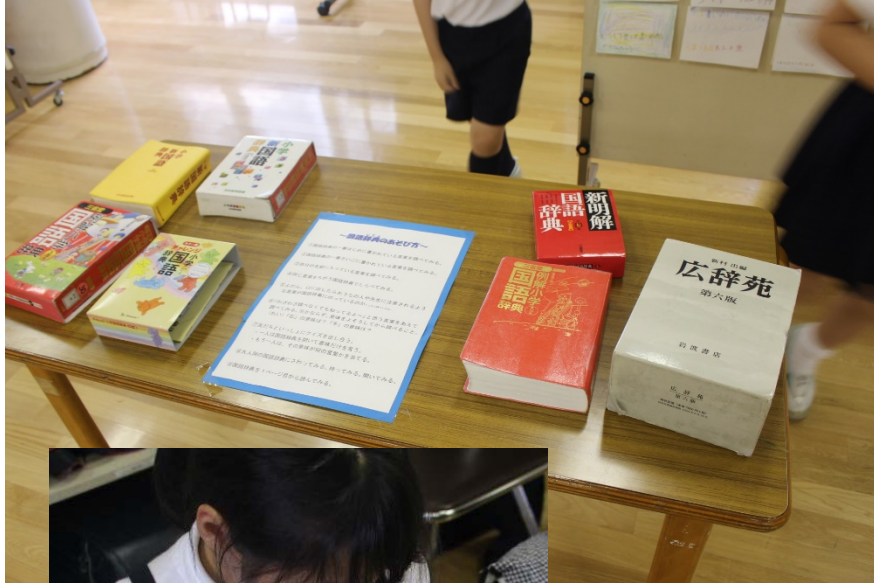
学びの深化を図る  
振り返りの充実

- 新たな気付きや更なる理解
- 自己の変容の自覚化
- +α 質向上のための手だて

学習過程

# 実証授業1

## 6月21日 第3学年国語 マイ国語辞典を創ろう

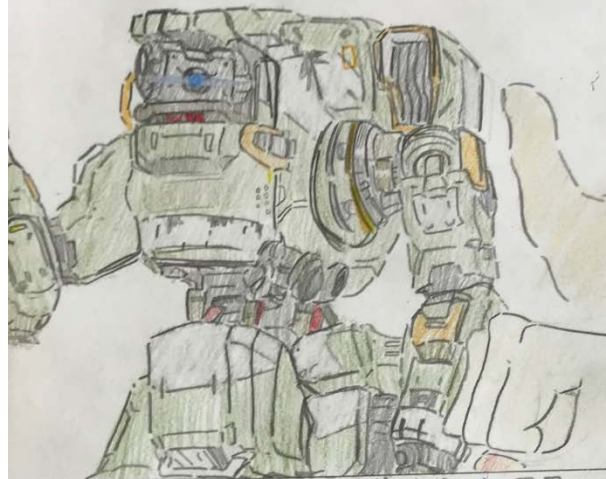


## 10月12日 第2学年国語 ～お話の続きを作ろう～

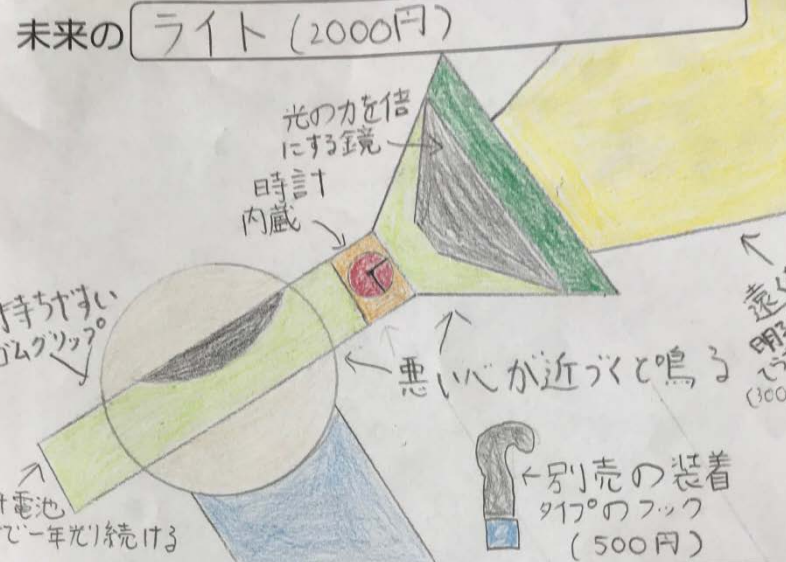


# その他の実証授業

未来の **機械・人間**



ぼくは未来の機械・人間に考えました。機械は、2脚歩行が流通して人手不足は解消され、進歩すると思います。人間は、物を埋めこみ、VR技術行かえます。考えた理由は、将来自分が実際に作りたいからです。ぼくが必ず作ってみせるので期待してください。



このライトは、遠くを明るく照らし、悪い音を持った人が近づくと音が鳴り、持ちやすいゴムグリップや時計も内蔵されており、単4電池一本で一年間光り続けます。別売で取り外しができるフックもあるので、無くす心配もありません。これがあれば、夜歩くのも安心安全だと思います。暗い所で働く人達、このライトをぜひ使ってみてください。  
※人には向けないでください。



第3学年 国語科・総合的な学習の時間  
だれにでもわかるように伝えよう  
—ピクトグラムづくりにもちようせん！—



内閣府  
知財創造教育

新しい創造をするための思考力、  
判断力、表現力等を育成する

自分の考えや思いを基に、新しい意味や価値を絵文字(ピクトグラム)をして表現すること。

創造されたものを尊重する態度  
を育成する

友達の絵文字(ピクトグラム)に込められた思いや考えを大切にし、よいところを見つけること。



カリキュラム・  
マネジメント

## 教科横断的な取組

国語科で学んだことを生かして、総合的な学習の時間で絵文字作りに取り組む。

## 外部人材の活用

日本規格協会から、絵文字作りに関わっているゲストティーチャーを招く。



## 教科横断的な取組

## 国語

説明文「くらしと絵文字」を  
読み、絵文字について知る。

## 総合

絵文字作りに向けた学校生活  
上の課題を見付ける。

## 国語

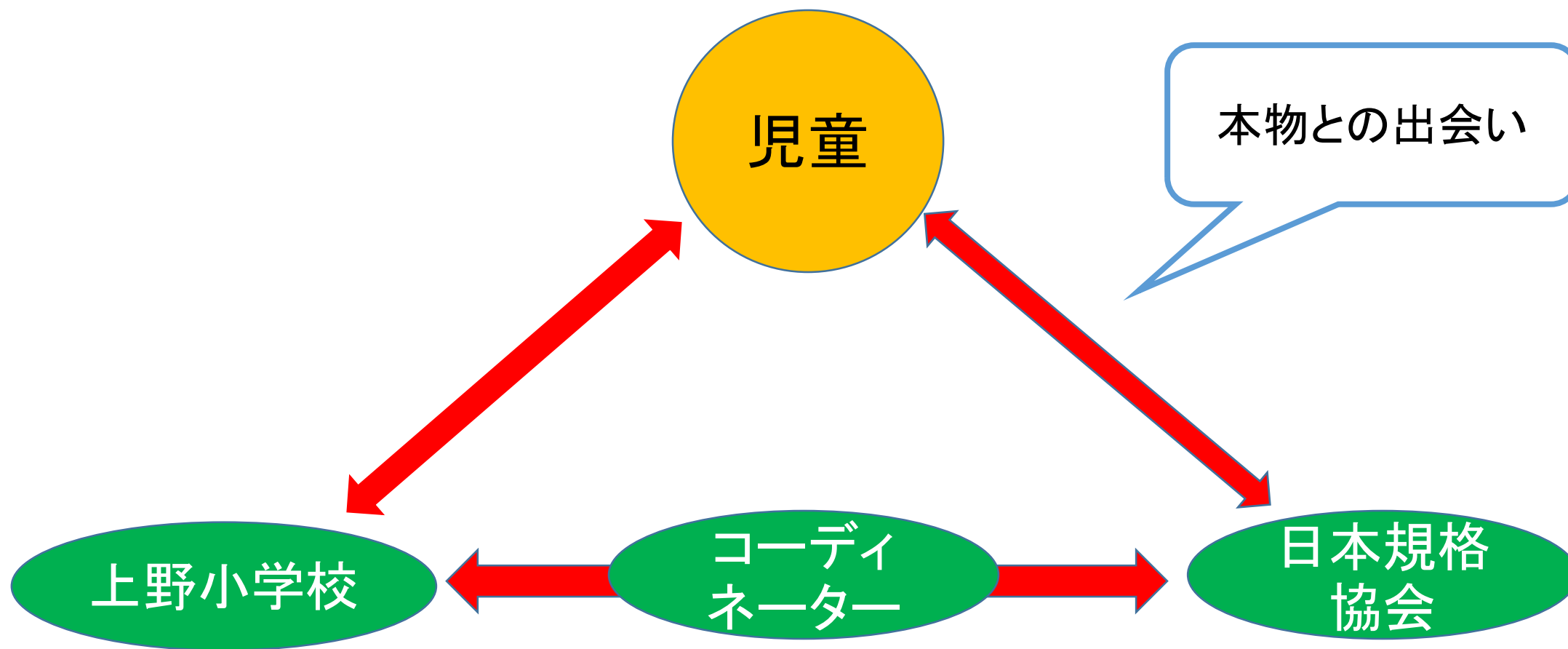
説明文「くらしと絵文字」を  
読み、身近な絵文字を説明す  
る。

## 総合

上野小をよりよくするため  
の絵文字を作る。

絵文字を通して、上野小  
をもっとよくなる！

## 外部人材の活用



松倉さん、香月さん

専門的な知識で作成された教材を活用することができた。



講師のプレゼンや担任との役割演技を行うことで、児童の興味を惹きつけた。



深い学び

## 課題設定の工夫

- ・児童自身が設定する課題
- ・各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせる課題設定
- ・豊かな創造性の育成を目指した課題設定

## 思考ツールの活用

- ・アイデアシート、附箋の活用

## 振り返りの充実

- ・振り返りの視点の明確化



思考の活性化を図る  
課題設定の工夫

児童自らが  
設定する課題

児童にとって必要性  
のある絵文字

(必然性)

学校をよくするための  
絵文字をつくらう！

(探究的)

自分の思いが伝わる  
絵文字を作らう

(創造性)



思考を可視化し  
学びを深めるための  
ツールの活用

## 個・グループ アイデアシート

個の考えを基にグループ  
の絵文字を作る。

## 付箋

個の考えのよさをグループ  
の考えに反映させる。





学びの深化を図る  
振り返りの充実

## 振り返りの視点

国語での学習を生  
活の課題に生かそう

ゲストティーチャーに  
もっと質問しよう

友達の考えを聞いて  
もっといいものがで  
きそう



学習を通して得た**新たな気付き**や  
**さらなる理解**について自分の言葉で表現





学びの深化を図る  
振り返りの充実

アイデアシート

デザイン案：台東区立上野小学校 3年2組  
作成：一般財団法人 日本規格協会

水をほたほたにのびて  
いじりしめすたをあげ  
りやす

アツアツ

デザイン案：台東区立上野小学校 3年2組  
作成：一般財団法人 日本規格協会

デザイン案：台東区立上野小学校 3年2組  
作成：一般財団法人 日本規格協会

デザイン案：台東区立上野小学校 3年2組  
作成：一般財団法人 日本規格協会

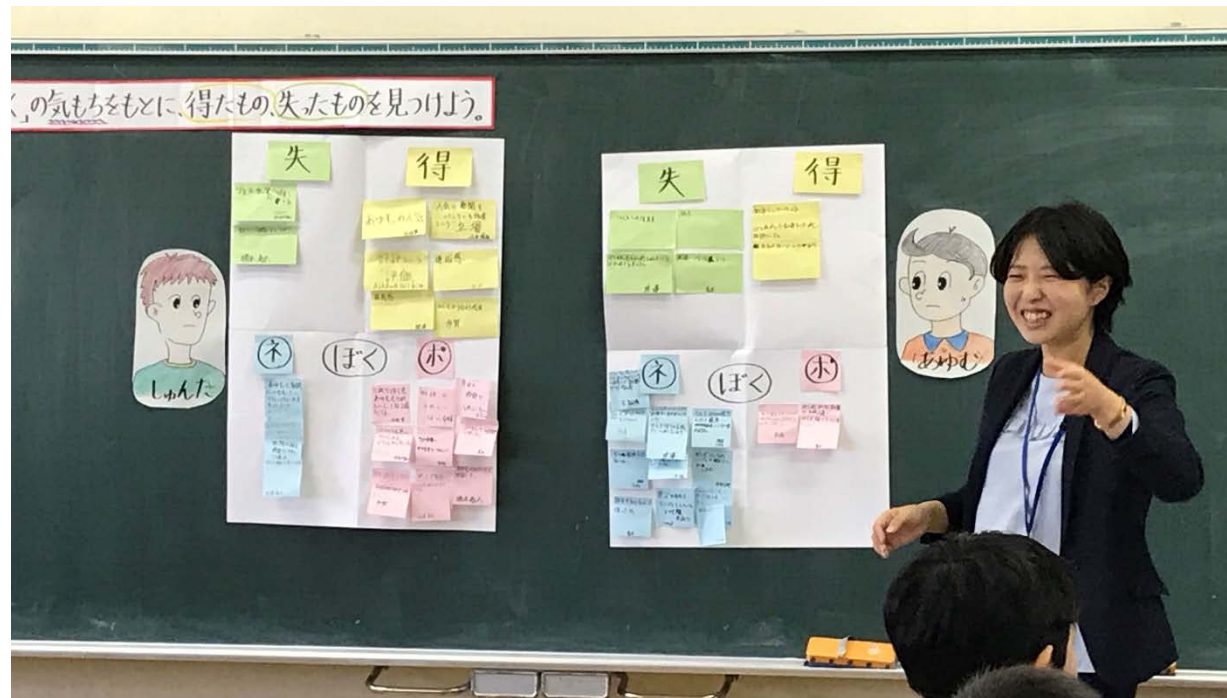
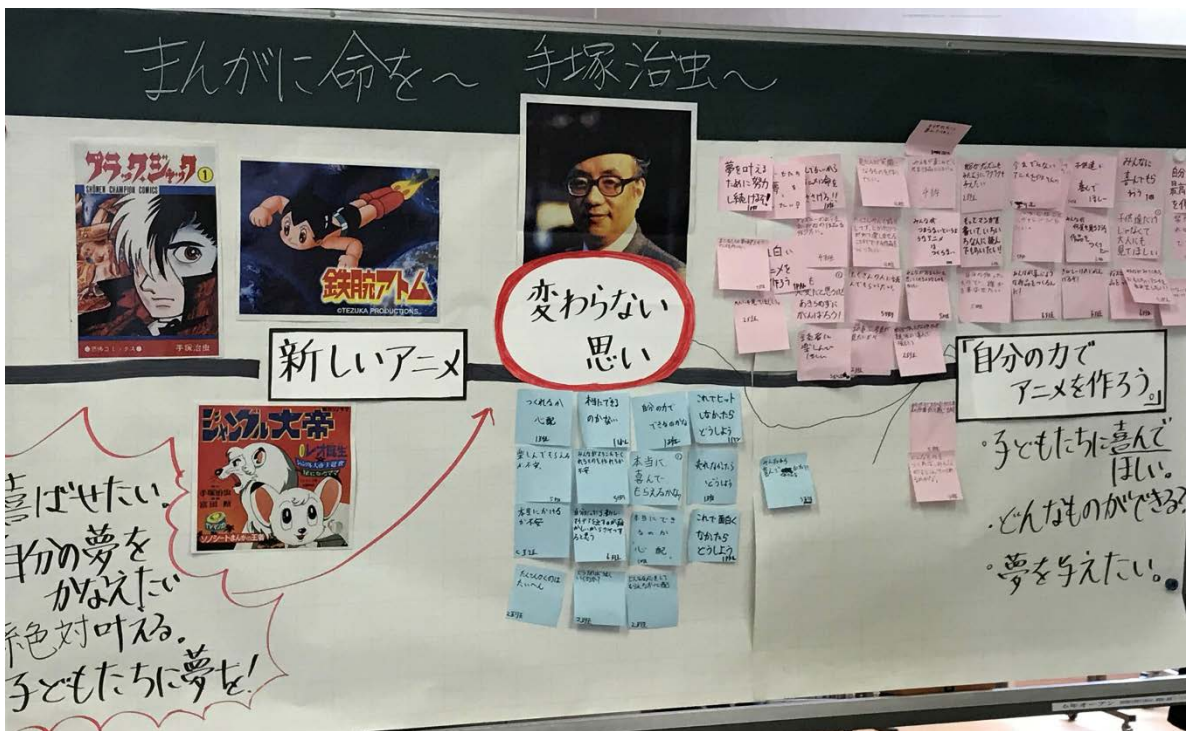
デザイン案：台東区立上野小学校 3年2組  
作成：一般財団法人 日本規格協会



新しいものを求めて  
権利と義務

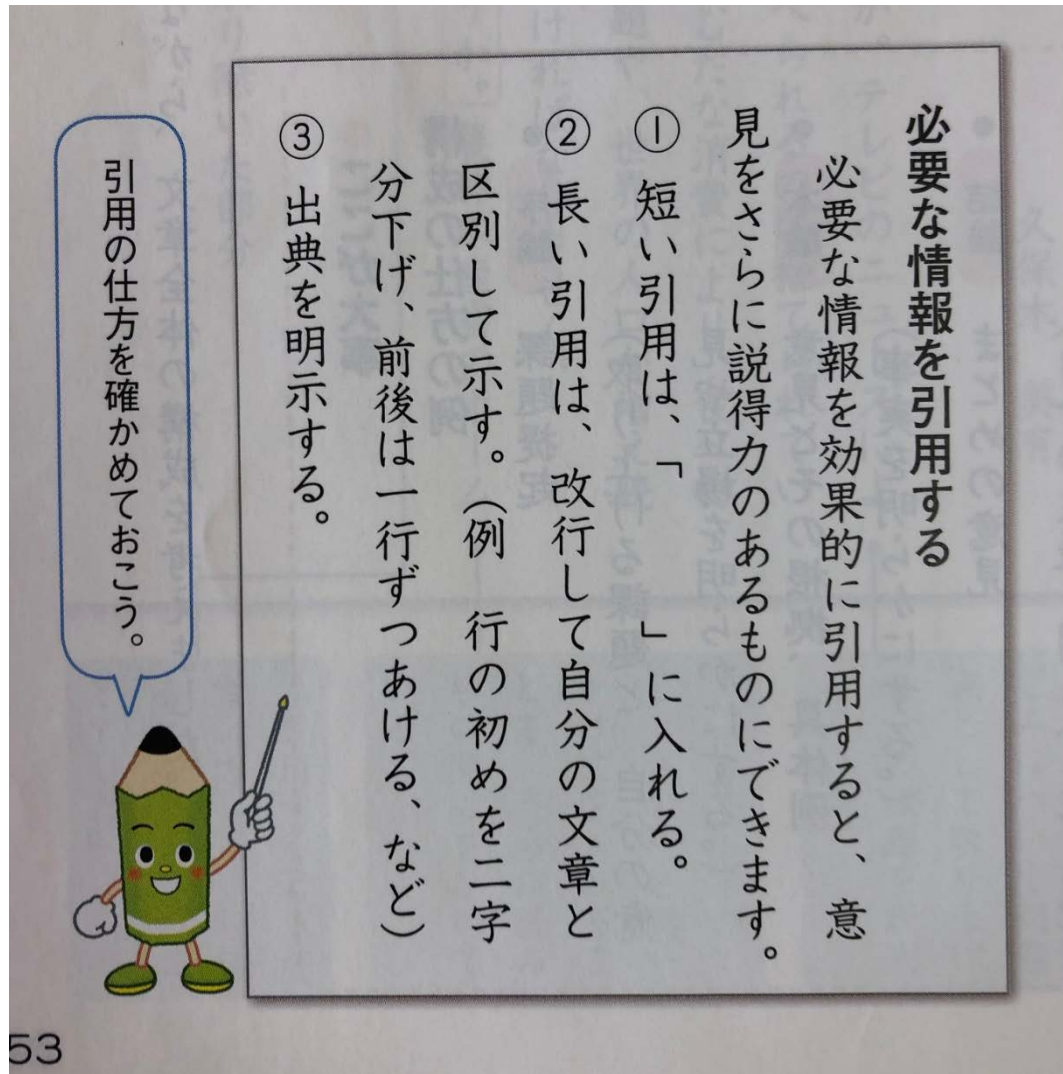
真理の探究  
規則の尊重

教材名 「まんがに命を～手塚治虫～  
「虹色ランナー」(自作教材)



2時間続きの道徳の授業に挑戦。手塚治虫がどんな気持ちで新しい作品を生み続けてきたのかをポジティブカード・ネガティブカードに表現して、話し合う。

担任の自作教材で著作権についてワークショップ形式で考える。多面的に作者の思いや著作権の大切さについて考えさせる。



- ・各教科や各学年で取り扱う知財教育について、系統的にまとめ、教えていく。

- ・教員が知財教育について、理解を深めることが必要である。

## 成果

- 創造教育では、様々な教科等において「新しい創造をするための発想を重視すること」と「創造するための思考力・判断力・表現力を育成すること」が効果的である。
- カリキュラム・マネジメントの視点から、教科横断的取組、外部人材の活用が効果的である。

## 課題

- 質の高い創造のためには、深い学びの実現は欠かせない。
- 外部人材の活用におけるコーディネーターの役割は大きい。
- 発達段階に応じた系統的な知財教育が必要である。



御清聴  
ありがとうございました